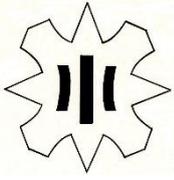


学校だより



せせらぎ

Well-being



令和7年1月号

山中小学校長 尾崎 純子

3学期が始まりました。

1月9日の始業式の朝、1年前の始業式では黙とうをおこなったことや児童一人ひとりの顔を見たとき、強く安堵したことを思い出しました。子どもたちのがんばる姿やのびのび遊ぶ姿を近くで見られることに感謝し、支援していきたいと思います。3学期は学年のまとめの学期となります。どの学年もそれぞれの学習を締めくくり、次の学年につなげる大切な時期です。子どもたち一人一人が自分の目標をもって落ち着いて学校生活を送ることができるよう教職員一同取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。あわせて、2025年が子どもたちや保護者、地域の皆様にとって心身ともに健康で安心できる年になることを心よりお祈り申し上げます。

校内書き初め大会

始業式のあと、体育館や芭蕉ルーム、教室にわかれ、静粛な中、集中して丁寧に字と向き合いました。



3学期最初のたてわり活動 6年生の企画でいろいろなゲームを楽しみました。3学期後半は5年生の企画になります。



1～3年すごろく
1, 2年生が一緒に考えたすごろくを使って、3年生を招待しチームで一緒に楽しみました。



1月20日 6年道徳 「中学校に向けて「強いところ」を育てよう」

本校のスクールカウンセラー藪下先生をゲストティーチャーとしてお招きし、あと少しで中学校に入学する6年生に授業をしていただきました。中学生のテスト前など具体的な例を示され、自分の弱さを認められる人が「こころの強い人」であること、弱さを一人で抱え込まず、誰かに相談してわかってもらうことも大切であることなど、お話されました。さらに、中学校・3年後の高等学校など新しい場所に入るときには、外国に留学するような気持ちで、それぞれの場所の特徴にあわせて、周りとの調和していくといったアドバイスがありました。子どもの振り返りも読んでください。

・ぼくは藪下先生の話聞いて、今までは弱い言葉を言ったりするのはあまりよくないと思ってたけど、反対に自分の弱いところを自覚して立ち向かえる人になりたいと思ったので、いままで悪い点のテストは、親に見せずにしまっていたけど、そういうのも見せて、提出物もしっかり出して、心の強い人になりたいです。

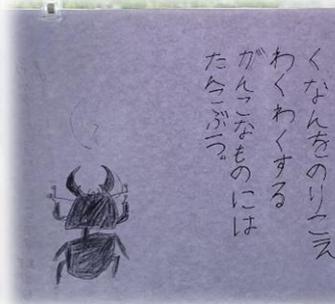
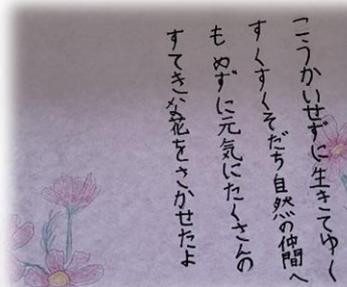
・前までは自分が完ぺきだと思う人が「強いところ」を持っていると思ってたけど、今日の話聞いて、自分の弱さを自覚できる人が成長できるとわかりました。「弱いところ」の人は、言い訳や関係ないことをすると知ったので、これからは「弱いところ」にならないように、自分の弱さもみとめて生活していきたいと思いました。

・今日の話聞いて、馬鹿にできたり、いじわるしてくる人のほうが心が弱いと知って、びっくりしました。なんとなくだけど、馬鹿にできたりする人のほうが強そうだなと、思っていたからです。でも、本当の心が強い人は「ごめん」と言えたり、自分の弱さを自覚できる人と聞いて、私もそんな心の強い人になれるよう、がんばりたいと思いました。中学校に行くのがこわくて心配だったけど、大切なのは自分がまわりの環境に合わせていくことだと知って、すごく安心できたわけではないけれど、中学校生活もがんばれそうな気がします。



3年国語

「詩の工夫を楽しもう」
素敵な作品がたくさん
あります



タイトル
「すてきな花」

「強い虫」

4年算数「面積の求め方」
いろいろな考え方を
共有しています

